（1）　明治20年創刊　第38825号（第３種郵便物認可）　THE JOMO SHINBUN　2003年（平成15年）5月21日（水曜日）　（日刊）

上毛新聞
発行所（〒371―8666）前橋市古市町1―50―21
上毛新聞社
電話 代表027(254)9966（直通）
（編集部）254―9933（広告）254―9944
（営業）254―9955（事業）254―9966
（読者）254―9966（制作）254―9966
（ファクス）254―9936（報道）254―9934
（電報）254―9977（総合）254―9911

◎ 上毛新聞社 2003年

過去最高1193億円

02年度県制度融資利用

「不況対策型」軒並み増加

ベンチャー好調 20.3%増

長引く景気低迷を反映して、中小企業を対象にした（00）二年度の県制度融資は、融資総額で過去最高の千百九十三億（一千四百万件の融資計分）は前年度から38・9%増加。融資総額は、一百万円を上回った。件数も千百九十九件で、九九八年度の二万九百五十二件に次いで多かった。

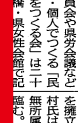
融資別でみると、融資の半分以上を占める小口資金が、前年度から百六十億六千八百万円増え、百八十四億六千九百万円となり、体の数字を押し上げた。千四百万円など。売り上げの減少や取口の設備投資、運転資金は小規模企業事業資金（0・8%増、百八十四億六千九百万円）となり、化支援資金は、83・3%増の百六十七億九千八百万円。木況に苦しんでいる業が多いことが示されたこれに対し、工場や店の新築、生産ラインの増といった設備投資資金（一ディング企業支援資金は14億円。中小企業設備支援資金・4%増で「攻め」の経営に踏み出す企業が増えている。

ベンチャー向け資金は好調だ。創業者支援資金は20・3%増加、環境・バイオテクノロジー、健康・福祉などを対象にした次世代産業支援資金も7件の利用があった。

融資額の大幅な伸びに対し、県商工課は「景気低迷で設備投資に慎重になっている企業が、借り換えや運転資金の融資を増やしている」と分析している。

過去最大の千四百三十億円となる。本年度は全体の融資額の引き上げ③融資期間の延長―などで、融資条件の改善が追い風になったと指摘する。

吉村氏が知事選出馬　小寺氏と4度目


吉村敏一氏

日本共産党県委員会の知事選で、共産党県委員会や県労会議などの団体・個人でつくる「民主県政をつくる会」は十日、前橋・県女性会館で記者会見し、前橋市議の吉村敏一氏（52）＝同市下野田＝を擁立することを発表した。吉村氏は同会を軸に、革新勢力の統一候補として選挙戦に臨む。

吉村氏は現職の小寺弘之氏がすでに立候補を表明しており、同氏の四選を阻止することが確実になった。

吉村氏は「県民の切実な願いに応えたい」などと出馬の理由を述べた。

吉村氏は県庁大衆部幹事長、県労会議副議長などを歴任。現在、自治労連副議長。消費者運動にも取り組んでいた。

吉村氏は「無所属候補」として選挙戦に立たなければならない」と述べた。

選挙戦では、同会のうち三十人余が後援会を結成し、地方選での公共事業への批判や、ムダ公共事業中止や国保税・介護保険料引き下げ、ハコモノ行政の転換などを訴える。

吉村氏は同会の会長代行委員。

法定協移行 8月に決着

太田、桐生など2市4町合併

太田市と周辺三町一村（尾島、新田、藪塚本町）でつくる任意合併協議会の四首長は十日、太田役所内で会議し、桐生市と笠懸町の参加を認めるとともに、八月中に二市四町の法定合併協議会に移行することで一致した。二市四町での合併に対する住民投票は、同協議会が問題点を整理するとともに、二市四町の法定合併協議会で参加が承認された場合、六月初めに二市四町による住民説明会を開き、合併特例法の期限内に県へのスケジュールをにらみ、八月中旬をめどに住民投票を行う。

二市四町の合併は流動的な要素もあるが、事実上、この枠組みでの合併に対する機運が高まってきた。

桐生市と笠懸町の参加は二月の任意協で申し入れがあり、三十日に開く任意協で参加が承認される見込み。

村上元労相に実刑判決

加え、①融資利率の原則0・2%以上引き下げの融資額の引き上げ③融資期間の延長―などで、融資条件の改善が追い風になったと指摘する。

本年度は全体の融資額の過去最大の千四百三十億円は「議員提案の2月、退職金約7280万円の実刑判決を言い渡した。村上被告側は控訴した。

紙面ガイド

りそなが議決権制限株式（2）
北京の松下子会社で感染（3）
アンマン事件で初公判（3）
核物質略奪で住民被ばく（4）
南一番街の整備計画公表（14）
落雷か安中で寺本堂全焼（15）

リーダー直言　県政の課題と戦略

▼2　自民党県議団県政塾会長　金田賢司氏

参院選へ態勢再構築

県民と県議会の距離を縮めるため、「県民との対話など地道な活動が大切」と語る金田氏

―一昨年の知事選は超える信任を得たい思う。そのために一生懸命やっていかなければ。

「30分構想」の推進を

―十二年の小寺県政をどう評価するか。

金田　小寺知事は自民党の推薦を受けているわけだから、県政と歩調を合わせて県議会とか政策同一歩会とか政策同一歩会とか政策同一歩